

今期のテーマについて

【案】

1 テーマ設定に至る背景について

- ・ 京都市においては、外国籍市民数が3年連続で過去最高を更新し6万1千人となるなど急増しており、また、その国籍や在留資格も多様化している状況です。少子高齢化による労働力不足等により、国では、「育成就労」制度の創設など、今後も日本全体で在留外国人の更なる増加が予想される中、地域においては、外国籍市民等が、経済・地域活動の担い手として不可欠な存在となることが見込まれており、外国籍市民等をはじめ、誰もが安心して住み続け、活躍できるまちの実現が求められております。

その実現に向けて、多言語での相談対応や日本語学習等の受入環境整備の取組に加え、地域における外国籍市民等と日本人の交流を促進するとともに、日常的な交流を通じ、多様な価値観や視点に配慮した相互理解の促進が必要と本市では考えております。

そこで、今期4回の審議会の共通したテーマを設定するとともに、議論の方向性として、各回にサブテーマを設け、様々な視点で御意見をいただきたいと考えております。

□今期のテーマ

「外国籍市民等の地域との交流促進・相互理解に向けて」

□各回のサブテーマ

回数	年月	議論の方向性（サブテーマ）
第1回	令和7年7月23日	各委員の経験談を紹介、御意見等
第2回	令和8年2月頃	日本人の考えていること、できること
第3回	令和8年7月頃	外国籍市民等の考えていること、できること
第4回	令和9年2月頃	とりまとめ